

2014年5月政情（内政・外交）

1. 内政

(1) 4日に行われた総選挙は平穏裡に終了し、同日19時35分、ピネージャ選挙裁判所長官は以降の選挙結果順位に変更の可能性はないものとして、パナメニスタ党バレーラ候補に対し、電話で次期大統領としての当選を伝えた。20日に選挙裁判所が公開した最新選挙結果（開票率99.98%）によれば、各主要候補の得票率はバレーラ候補39.07%、CD党アリアス候補31.40%、PRD党ナバーロ候補28.16%と、選挙前に行われた各世論調査において優位が伝えられていたアリアス候補に7%以上の差をあけてのバレーラ候補の勝利となった。7日19時にはアトラパ国際会議場にて次期大統領当選認定式が行われ、同候補が次期大統領として正式な認定を受けた。

(2) 4日に行われたパナマ市長選挙に関し、6日、選挙裁判所よりパナメニスタ党ブランドン候補のパナマ市長当選が伝えられた。選挙前に実施された各世論調査では他候補に大差をつけてのPRD党ファブレガ候補の優勢が示されていたが、実際の選挙では同候補とブランドン候補の間での接戦が繰り広げられる事となった。14日に選挙裁判所が公開した最新選挙結果（開票率98.58%）によれば各主要候補の得票率はブランドン候補35.72%、ファブレガ候補34.52%、CD党メンデス候補29.01%となっており、僅か1.2%差でブランドン候補の当選となった。

(3) 11日、当地パナマ・アメリカ紙が掲載した国会議員選結果によると、国会における各政党議席はCD党30、PRD党25、パナメニスタ党12、モリレナ党2、民衆党1、無所属1、FAD党0となっている。しかしながら、このうちCD党議員をはじめとする14名の議員の当選に対し異議申立てが提出されており、今後議席数が変更される可能性がある。

(4) バレーラ次期大統領は、11日以降、TVや新聞等のメディアを通じて新閣僚の発表を行っている。31日までに判明している主要閣僚等10名は以下のとおり。

ア 大統領府大臣：アルバロ・アレマン（元外務次官）

イ 外務大臣：イサベル・サイン・マロ（次期副大統領）

ウ 外務次官：ルイス・ミゲル・インカピエ（元内務次官、元労働開発次官）

エ 内務大臣：ミルトン・エンリケス（民衆党党首）

オ 経済財務大臣：ドウルシディオ・デ・ラ・グアルディア（元経済財務副大臣）

カ 保健大臣：フリオ・サンタマリア（元保健次官）

キ 保健次官：ハビエル・テリエンテス（医師）

ク 労働開発大臣：ルイス・エルネスト・カルレス（元労働開発次官）

ケ 環境大臣：ミレイ・エンダラ・デ・エラス（環境庁の前身である持続可能な天然資源庁の元長官、日系パナマ人）（注：現在は環境庁であるが新政権発足後、省に格上げされ大臣職となる予定。）

コ メトロ庁長官：ロベルト・ロイ（留任）

(5) 17日、バレーラ次期大統領とPRD党ナバーロ党首は、次期政権における国会でのパナメニスタ党とPRD党の協力に関し会談を行った。また19日からは両党の議員らにより本件に関する交渉が開始された。

(6) 28日、国家開票委員会により中米議会（PARLACEN）議員選挙結果が発表された。各政党の議席数は、パナメニスタ党7、PRD党6、CD党5、民衆党1、モリレナ党1となった。

2. 外交

(1) 第6回カリブ諸国連合首脳会合がメキシコ・メリダにて行われ、マルティネリ大統領の代理としてアルバレス・デ・ソト外相が出席した。

(2) 8日、ソリス・コスタリカ新大統領就任式に「マ」大統領の代理として「ア」外相が出席した。

(3) 16日、「ア」外相はエクアドル・キトにて同国パティニーニョ外相と会談を行い、同外相との間で外交機関と市民の歩み寄りを促す政治のあり方や現パナマ政権の成長分野など関心事項について意見交換を行った。

(4) 21日、「ア」外相はコスタリカ・サンホセにて同国ゴンサレス外相と会談を行い、同外相との間で両国の友好関係や地域統合に関し意見交換を行った。

(5) 19日、パナマ外務省はベネズエラとの間でカラカス市における領事関係再開のための書状の交換を行ったことを発表し、26日、同国との間での領事関係が正式に再開した。

(6) 28日、「マ」大統領はスペイン・マドリードにて同国ラホイ首相と会談を行い、パナマの経済成長や経済的ハブとしての役割の強化等に関して意見交換を行った。また同日昼、「マ」大統領はスペイン国王夫妻主催の午餐会に招待された。（フェリペ皇太子同席）

(7) 29日、「マ」大統領はイスラエル・テルアビブにて同国ネタニヤフ首相と会談し、二国間関係やラテンアメリカ情勢、地域平和、パナマによるイスラエル支援等に関して話し合いが行われた。また「マ」大統領は同国ペレス大統領とも会談を行い、交渉中にあるパナマ・イスラエル間での自由貿易協定への署名やエル・アル航空のテルアビブ市～パナマ市直行便開通の可能性などに関し意見交換がなされた。また同行した「ア」外相はリーベルマン外相と会談し、両国関係の強化やアメリカ大陸及び中東地域の情勢に関し話し合いが行われた。

(8) 30日、「マ」大統領はコソボ・プリシュティナにて同国ヤヒャーガ大統領と会談を行い、両大統領は両国の通商・外交関係強化等に関し意見を交わした。